

## ～未来を担うエンジニア入門講座～

## 開催報告

2018年から「国土文化カフェ～未来を担うエンジニア入門講座～」(以下、国土文化カフェ)を開催しており、今年には第四期国土文化カフェを開催しました。

## 1. 目的

国土文化カフェは、建設コンサルタントにおける初期専門能力開発(Initial Professional Development:IPD)を目的とし、専門的能力のみならず、プロフェッショナルなコンサルタント・エンジニアの能力として、幅広い視野、関心、国際性、リーダーシップ、コミュニケーション能力、マネジメント、倫理性などを備えた、将来の建設技術研究所を担うことができる若手エンジニアの育成を目的としたものです。

## 2. 開催概要

## (1) 日程、研修時間

6月～10月の5ヶ月間で計6回、1回あたり4時間で開催しました。

## (2) 研修テーマ

宗教と文明、SDGs、AI、地方創生など、エンジニアを取り巻く多様な視点からテーマを設定しました。

## (3) 開催形式

コロナ禍の影響があり、第1回～第5回はWEB会議形式で開催しました。第5回は、事務局スタッフ2名が「道の駅保田小学校」の現地に赴き、現地から中継するというスタイルを採用しました。第6回は緊急事態宣言解除後であり、唯一の集合形式で開催しました。これまでの対話は画面上だけでしたが、最後によりよく直接お互いに話して交流することができました。

事前の連絡から本番まで、参加者や事務局のコミュニケーションは全てMicrosoft Teamsを利用しました。

## (4) 参加メンバー

参加条件は、おおむね25～35歳のCTIグループ会社の社員(最低でも3年程度の実務経験)であり、6回全てに出席できる方としました。公募の結果、事業所推薦を

含めて若手技術者19名が参加しました。グループ会社では、日本都市技術(株)と(株)CTI グランドプランニングからの応募がありました。

## 第四期国土文化カフェの講師および研修テーマ

日程	講師	研修テーマなど
6月2日(水)	池田駿介氏(東京工業大名誉教授)	はじめましての国土文化カフェ 国土文化カフェの趣旨と技術者に期待すること
6月25日(金)	橋爪大三郎氏(東京工業大学名誉教授)	人のつながりから文明を考える
7月30日(金)	近藤真一氏(ベシヤワール会元駐在員)	SDGsで捉える、世界と日本
8月27日(金)	井口圭一氏(HEROZ(株)取締役(CTO))	AI将棋の成功プロセスと今後の展望～技術からサービスへの展開～
9月24日(金)	大塚克也氏(道の駅保田小学校校長)	地方創生の現場
10月29日(金)	—	各回の振り返り、参加者1人1人の発表と全体討論

## 第四期国土文化カフェメンバーの所属

東北支社 道路・交通部
東北支社 環境室
東北支社 地圏環境室
東京本社 海岸・港湾室
東京本社 機電設備部
東京本社 道路・交通部
東京本社 道路・交通部
東京本社 マネジメント技術部
中部支社 河川部水工室
中部支社 道路・交通部
中部支社 環境室
大阪本社 水システム部上下水道室
大阪本社 情報・電気通信部
大阪本社 資源循環・温暖化対策室
九州支社 河川部
九州支社 道路・交通部
日本都市技術(株) 東日本支社東日本区画整理部東日本換地課
日本都市技術(株) 西日本支社西日本都市整備部西日本都市整備課
(株)CTIグランドプランニング 計画グループ国土情報室

## (5) 各回の流れ

第1回から第5回は、講師から話題提供をいただいた後、4名前後からなるグループに分かれて討議を行い、最後に発表と意見交換を行いました。各グループでは、回ごとにファシリテータを決めて対話を進め、意見交換においてもそのファシリテータが仕切る形としました。

最終回は参加者それぞれが5回の講座を振り返り、学んだことや成長を感じるところ、10年先に向けた取り組みや

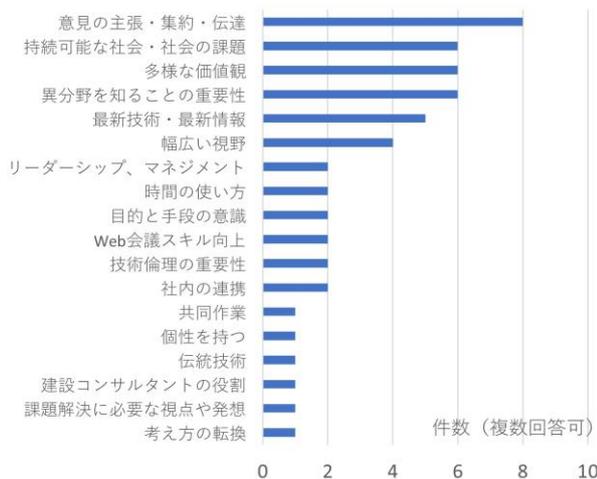
目標などについてプレゼンテーションを行い、参加者の所属部署長のコメントもいただきつつ意見交換を行いました。カフェ方式のディスカッションは、本来は参加者全員がリラックスした状態で自由に「対話」を行い、対話を通じて参加者がそれぞれ「気づき」を得るというものです。しかしながら、ほぼWEB会議となってしまったことから、自由な対話の雰囲気になりにくかったところが反省点です。

### 3. 参加者の主な意見

最終回での参加者のプレゼンテーションから、キーワードをピックアップして集計しました。

#### (1) 国土文化カフェから学んだこと

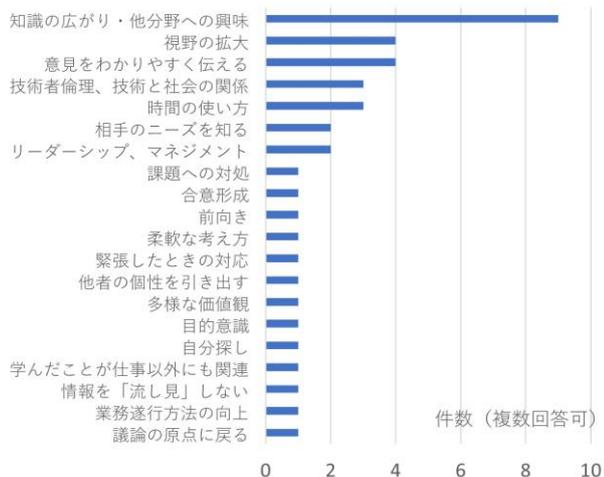
「意見の主張・集約・伝達」「社会課題」「多様な価値観」「異分野を知る」などが多く挙げられました。



国土文化カフェから学んだこと

#### (2) 技術者として成長を感じる点

「知識の広がり・他分野への興味」「視野の拡大」「意見をわかりやすく伝える」などが多く挙げられました。



技術者として成長を感じる点

#### (3) 10年先に向けた取り組みや目標

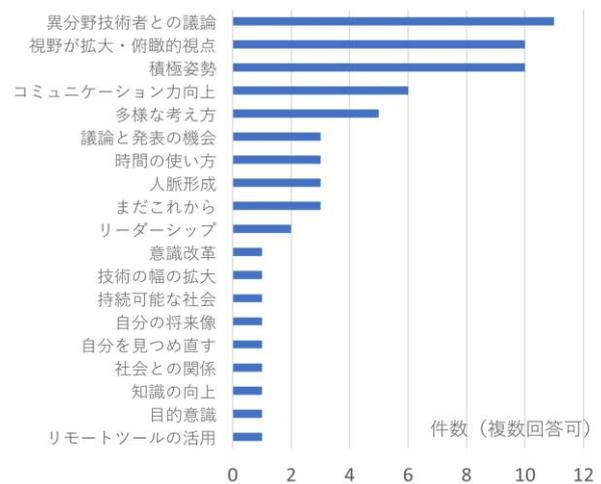
「他分野にも精通・他分野と連携」「視野の拡大」などが多く挙げられました。



10年先に向けた取り組みや目標

### 4. 上司の主なコメント

第四期国土文化カフェ終了後、参加者の上司の皆さまからコメントをいただきました。主なキーワードとして、「異分野の方との議論」「視野の拡大」「積極性の向上」が多く上げられ、参加者自身の意見とほぼ同じ傾向となりました。幅広い視野を持ち、人脈も広げるといふ国土文化カフェの目的に沿った結果になったと思います。



上司からのコメント

### 5. 今後に向けて

これまでの4年間は、選抜メンバーを対象として実施してきましたが、今後当社は、全若手技術者を対象とした初期専門能力開発(IPD)の研修システムを2023年度から本格的に導入します。2022年度はそのための試行を始めています。4年間で得たノウハウを生かして、さらに人材育成に力を入れていきます。

以上